



学校だより

横浜市立六つ川台小学校
平成28年11月30日

12月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>

安全・安心のために

学校長 柳澤 潤

11月24日、横浜市内で54年ぶりの積雪がありました。次の日は、急に手袋をした児童が増えました。「いきなり冬になっちゃった」と、話しかける2年生。植木の上ののっている雪を、食べる真似をしてみせる4年生。「霜柱が、あるよ」と、小さな氷の柱を見つけて教えてくれる1年生……。残った雪で遊ぶ子どもたちは、とっても楽しそうです。

寒風の中、タグラグビー（特別クラブ）の早朝練習も始まりました。中休みの校庭は、大縄集会の練習に張り切る子どもたちがいっぱいです。今月も寒さに負けず、元気に過ごして欲しいと願っています。

さて、本校では通学路の総点検を行い、登下校路の一部見直しをしました。少し遠回りになる不便が生じるのですが、危険と思われる横断箇所を迂回することにしました。該当の子どもたちは、新しい通学路で安全に登校しています。また、地域の方からは、「下りの坂道で自転車が加速し、下りきったところで止まらず、その勢いで坂道を登っていく。車にぶつかるのでは、と心配している」と、具体的に場所を知らせていただき、ご指摘を受けました。すぐに、子どもたちへの指導や注意をすることができました。

先日の朝会には、南警察から交通課長を招いて、交通安全の心得を話していただきました。特に、見通しの悪いところでの横断は、危険が潜んでいることを知らせてくださり、高学年の児童には、低学年の児童の横断の様子にも目配りをしてほしいこと、安全に横断する手本になってほしいことなど、熱心に話してくださいました。敬礼の仕方も教わり、制服の「おまわりさん」の指導がしっかり伝わったと思います。

安全への備えは、不断の見直し、継続の指導が大切です。防災の指導にも力を入れていきます。先日、「3.11」以降に備蓄した非常食を、各家庭に配布させていただきました。この機会に、各家庭でも防災の再点検をされてはいかがでしょうか。子どもたちには、自分の身は自分で守ること、火の始末をすること、懐中電灯など防災グッズのこと、地域の避難場所を家族で確かめておくことなどを伝えていきます。

私は、「3.11」を中区の学校（当時の職場）で過ごしました。全ての時間が止まってしまったような怖さを覚えています。そして、「生きていること」「生かされていること」の意味を問い直す、強い衝動につながりました。今でも全国で大きな地震が来るたび、苦しくなります。学校で行う毎月の防災訓練も、子どもの命を守るために、真剣に取り組んでいきます。

「誰もが安心して豊かに」という、横浜市の人権教育の指針があります。学校教育目標の「自ら学び、思いやり広げよう台小の子」の具現をめざして、子どもたち一人ひとりが思いやりをもつこと、そして、その思いやりを回りの人や、社会へと広げていくことができるように、大事に子どもたちとかわかっていきたいと思えます。安全・安心な環境作りは大人の責任です。教職員は、子ども一人ひとりに最大の思いやりをもつこと、一人ひとりを全力で受け止めること。そして、保護者や地域の皆様の思いやりに包まれることが必要です。

様々な行事などで、本年も力強い応援をいただき、大変お世話になりました。ありがとうございました。平成29年も、引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

